



区長を囲む△△

六月二十五日 阿戸福祉センターにおいて、区役所二十名、地元三十名出席のもと、「区長を囲む会」が開催されました。

阿戸町から、

① 売り上げ減少により存続が心配される

「Ａコープ阿戸店」への支援策

② 認定子ども園設立後の阿戸保育園跡地や

建物の活用策

が当面の課題である旨説明しました。

安芸区からは、里山あーと村や町内の道路舗装計画など、安芸区の主要事業の概要について説明があり、引き続き意見交換会が行われ、行政側との交流を深めました。

小・中学校改築工事の進捗状況

夏休み期間中のある日、工事真っ最中の小学校に校長先生を訪ね、校舎の見学をさせてもらいながら工事の内容につき種々説明を受けました。

旧小学校棟についてはほぼ工事が完了し、小、中学校とも授業が行われており、冷暖房完備の明るく広い教室で快適に勉強しています。

職員室、事務室、保健室等は小中学校共同で使用されており、小中学校間のスピーディーな意志の疎通が図られているそうです。

トイレの一部や放送室も最新鋭の設備となっており素晴らしいものでした。

現在は旧中学校棟の大規模な改造が行われており、完成後は特別教室が集約されます。パソコン室、音楽室、美術室、家庭科室は小中共用、理科室、図書室等は小中別々に使用することになります。

今回工事の目玉の一つである両校舎を結ぶ渡り廊下は八月末までには使用可能となり、体育館への移動も楽になります。

児童・生徒にも好評です。

十二月末完成、引渡しに向け工事も急ピッチで進められており、旧中学校側のエレベーター塔も工事中でした。

一連の工事に対し「騒音や粉塵で近隣住民の方々に多大なご迷惑をお掛けし申し訳ありません。」と仰っていました。

「立派な校舎にしてもらい、大変感謝しています。小中連携教育を推進していく環境は整いました、小学校入学から中学校卒業までの九年間、常に子どもたちを見守る事が出来るのが一番の利点です。」と今後の連携教育に向け決意を語って下さいました。

我々地域住民も側面から支援、協力していかねばと痛感した次第です。



認定子ども園設置について

阿戸町連合町内会では、若者の定住化を推進するため、阿戸町を活性化させるため、子育てしやすい環境の整備を図ることが必要と考え、認定子ども園の設置を広島市に要望して参りました。

その結果、本年三月には広島市立では初めての認定子ども園が設置されることとなりました。

阿戸町民の念願がかない嬉しく思っております。

皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。整備内容は次の通りですが、現在、具体的内容について、広島市と協議を行っております。

- 一 阿戸保育園と阿戸幼稚園を一か所に集約し、現阿戸幼稚園施設を増築活用する。
- 二 スケジュール
 - 二十四年度 地質調査、実施設計
 - 二十五年度 建築工事
 - 二十六年度 開園（予定）



平成二十四年度連合町内会 役員名簿

平成二十四年度 阿戸町連合町内会役員
決まる

平成二十四年度連合町内会総会において役員
が選任されました。

新しい体制は次の通りです。

顧問	山田 松司	第四区町内会顧問
会長	松田 康憲	第四区町内会会長
副会長	高山 義昭	第五区町内会会長
理事	宇野 耕次	第一区町内会会長
理事	出口 勝紀	第二区町内会会長
理事	池田 正裕	第三区町内会会長
理事	景山 尚文	第六区町内会会長
会計	景山 尚文	第六区町内会会長
監査	末永 宏征	第二区町内会副会長
監査	景山 子	第六区町内会副会長

連合町内会の活動と平成二十四年度予算について

平成二十四年度の予算は、収入金額九〇七、〇〇〇円、このうち七四〇、〇〇〇円（八二％）が町内の皆様から年間一、〇〇〇円負担いただいている負担金です。

そのほか繰越金、寄付金等があります。

支出の主なもの、阿戸学区体育協会など五団体への助成金三五〇、〇〇〇円（三九％）、盆踊り大会、町民まつり、ウォークラリー大会等負担金一四〇、〇〇〇円（一五％）、町民体育祭準備金一〇〇、〇〇〇円等で、残りの三七、〇〇〇円がまちづくり事業費、会議費、旅費等で連合町内会の活動費となっています。

今年度も元氣な阿戸町をめざし、認定こども園開園に向けた取組み、Ａコープ阿戸店への買物支援、阿戸保育園跡地の活用策、コミュニティ活動など積極的に取組んで参ります。

有価資源ゴミ利益還元額について

累計 金一、五〇〇、〇〇〇円

資源ゴミの収集については、ご協力いただきありがとうございます。

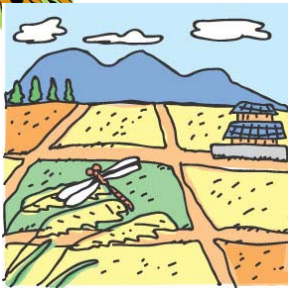
平成二十四年八月現在 一、五〇〇、〇〇〇円となっております。

これは、「阿戸まちづくり基金」において厳正に管理しております。

今後ともご協力をお願いいたします。

連合町内会といたしましては、第一・第三土曜日の収集日（アールイー新日本）に出していただき、まちづくり基金の収入増加にご協力いただきたいと思います。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



公衆衛生推進協議会からの報告

☆今年も献血を行いました

公衆衛生推進協議会の一年間の大きな行事は、六月の献血と三月の町内一斉清掃です。

いずれも、町民の皆様の多大なご協力を得て実施しております。

六月八日に実施した献血には、一一三名の方に参加していただき、一通りの検査をクリアされた八三名の方から、貴重な四〇〇mmの血液をご提供いただきました。

参加者・献血者共に昨年を上回る人数でした。

町民の方だけではなく、町内の事業所からも、事業主様のご理解をいただき、大勢の方に協力していただきました。

感謝の気持ちで一杯です。

☆町内一斉清掃

来年三月四日実施予定の町内一斉清掃は、

「まちを美しく川をきれいに」のスローガンのもとに、全六町内会のご協力を得て実施いたします。

河川の清掃、県、市道等のゴミ回収などの作業を終えた後には膨大なゴミが集まります。(昨年度：土嚢袋二七〇余)

”ゴミのポイ捨てをしない”皆様のちょっとした心がけで、きれいな町を作りましょう。



森のジャズライブ 2012 開催

今年も森のジャズコンサートが開催されました!

三区の牛ヶ谷には、行政と阿戸町と一般市民が運営管理する「里山あーと村」があります。

二〇〇一年に里山の再生、人々の交流、阿戸町地区の地域おこしとなる、三つの目的でスタートしたものです。

市有林のすり鉢状の地形を生かし、雑木を伐採するなどして、木漏れ陽の差し込む野外ステージができており、毎年八月の最後の日曜日に「森のジャズコンサート」が開催され広島県内外の一流ジャズメン(中には世界的に活躍する人も)来演し大人の音楽を聞かせてくれます。

このコンサートもロコミ等で段々とメジャーなコンサートとなり大勢のジャズファンが詰め掛けるようになりました。

今年も去る八月二十六日(日)、第十二回が開催され、岡山市から「ザ・バード・ジャズオーケストラ」という一六名のビッグバンド。さらに「ソルティーG・メモリアルバンド」という顔馴染みのメンバーで構成されたバンドの二組が来演しました。

三部構成、約二十曲が演奏されました。

今年も例年に劣らず素晴らしいコンサートでした。

阿戸町のそばをはじめ、いろいろな飲食の提供もあり、農産物の販売も行われるなど、参加者約五九〇名近くの人たちは、満足して家路につかれました。



名所旧跡の紹介と、各種団体の紹介の終了報告

永らくご愛読いただきました「各種団体の紹介」と「町内の名所旧跡シリーズ」は一巡したため、終了いたしました。

今までに執筆して下さいました方々に厚くお礼申し上げます。

今後良い企画があれば編集委員まで一報ください。

平成二十四年度 阿戸町納涼盆踊り大会

今年も、のりの良い「河内音頭」の音色の中で明るく和やかな町づくりの一貫として納涼盆踊り大会が実施されました。

盆踊り実行委員長挨拶の後、谷間を揺るがすスドンという花火二十数発に、金魚すくいをしていた子ども達も、輪になっていた人たちも、夜空を仰ぎ感動しました。

阿戸町では約二百年前から、阿戸音頭・阿戸おどりが踊りつがれています。

ふれあい物語



「四こま漫画」

について

人情味の豊かな、阿戸町をイメージしています。これは、第2区町内会の藤岡由紀美さんの作品です。

平成二十四年度行事報告及び行事予定

☆納涼盆踊り大会

八月十五日（水）

阿戸小学校グラウンド

☆森のジャズライブ

八月二十六日（日）

里山あーと村



一、きそん（人集め） 二、手踊り
三、腰ふり踊り 四、弓ひき踊り
五、夫婦踊り 六、扇子踊り
以上六つの踊りが、絶妙な音頭のもとで優雅に踊られ、大きな輪になって町民の絆を深めました。来年度も八月十五日で企画実施されるものと思っています。

先輩たちが培ってこられた伝統文化の継承に我々も努めたいものです。

皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

☆敬老会

九月十六日（日）

阿戸福祉センター

※区民まつり

十一月十一日（日）予定

船越町内

※阿戸町民まつり

十一月十八日（日）予定

阿戸町内

※阿戸町駅伝大会

一月一日（日）予定

阿戸町内

※町内一斉清掃

三月三日（日）予定

阿戸町内

※ウォークラリー

三月十七日（日）予定

阿戸町内



編集後記

毎日、健康のために散歩をしています。
美味しい空気、さわやかな風。
周りの景色を見ると、田圃一面が黄金色に染まり、まもなく稲穂の収穫を迎えます。
農家の皆様が夏の暑い時に地道な働きで、田圃の中の雑草取り、水の見回り、何度も畦の草刈をなさる等、頑張ってこられたお陰と感謝しています。
阿戸町の自然に恵まれた環境で生活できていることを喜んでいます。

（横山みどり）

